

## 2 回目の加盟国協議に諮られている ISPM 案に対する 我が国の主なコメント案

### 1 ISPM5「植物検疫用語集」の改正

コメントなし

### 2 植物検疫措置としてのくん蒸の使用の要件

#### 6.4 くん蒸温度の決定 (パラ 116)

##### 【コメント案】

[116] The temperatures of the commodity and the atmosphere within the enclosure should be measured and recorded. The lowest temperature recorded in the enclosure or the commodity should be taken as the temperature at which the fumigation is undertaken. ~~Fumigation should not proceed if, before or during fumigation, the temperature within the enclosure or the commodity falls to within 3-5 °C of the fumigant boiling point at the atmospheric pressure used. Under such conditions, heating equipment should be used to ensure adequate fumigant activity. Appendix 1 provides boiling point temperatures for some common fumigants.~~

##### (仮和訳)

[116] くん蒸施設内の物品及び大気温度を測定し、記録すべきである。くん蒸施設内又は物品内で記録される最も低い温度は、くん蒸が行われる温度と扱われるべきである。くん蒸の前又は最中にくん蒸施設内又は物品の温度が、使用する大気圧でのくん蒸剤の沸点から 3~5 °C 以下まで低下した場合、くん蒸を続行すべきではない。このような状況下では、加熱装置を使用して十分なくん蒸剤の活性を確保すべきである。付録 1 に一部の一般的なくん蒸剤の沸点を示した。

##### 【理由】

- ・ 「くん蒸剤の沸点から 3~5 度まで低下した場合くん蒸を実施すべきでない」とする科学的根拠が不明である。
- ・ くん蒸剤の沸点については、処理計画 (treatment schedule) を作成する際に考慮すべき事項であり、実際のくん蒸手続 (fumigation operation) 時には不要な要素である。
- ・ 第 4 センテンスについては一部を関連セクションであるパラ 94 の第 1 センテンスの前へ移動する。

[94] Heating equipment should be used to ensure adequate fumigant. When it is necessary to raise the temperature of the commodity and the air within the enclosure, exposed heating sources should not be used with flammable fumigants or fumigants that decompose at high temperatures (see Appendix 1 for fumigant chemical properties).

## 6.7 測定及び記録（パラ 127）

### 【コメント案】

[127] When fumigant concentration is measured and recorded, the measurements should be used to verify whether the concentration of fumigant in the enclosure is correct and that there has been no excessive leakage or sorption of the fumigant. ~~The fumigation time begins once all the gas has been introduced and has distributed throughout the enclosure.~~ Concentration readings should be taken according to the treatment schedule to ensure that the fumigant is evenly distributed in the enclosure over the duration of the treatment.

（仮和訳）

[127] くん蒸剤の濃度が測定及び記録される場合、くん蒸施設内のくん蒸剤の濃度が正しいかどうか、及びくん蒸剤の過剰な漏えい又は収着があるかどうかを確かめるために、測定値が用いられるべきである。くん蒸時間は、いったんすべてのガスが投薬され、くん蒸施設全体に拡散され開始となる。濃度の読み取りは、処理計画に従って、くん蒸剤が処理期間中にくん蒸施設に均等に分布していることを確認するために行われるべきである。

### 【理由】

リン化水素くん蒸では、サイロやコンテナにくく類などのくん蒸対象物を搬入する際に粒状のくん蒸剤を混入して使用する場合がある。その場合、気化に時間を要するため、「くん蒸時間は、いったんすべてのガスが投薬され、くん蒸施設全体に拡散され開始となる」は該当しないことから、削除を提案。

## 9. 検査（パラ 191 の後）

### 【コメント案】

after[191]The NPPO of the importing country may inspect documentation and records for treatments conducted during transport to determine compliance with phytosanitary import requirements.

（仮和訳）

[191]輸入国のNPPOは、輸送中に行われた処理について、輸入植物検疫要件への適合性を判断するため、その文書と記録を検査することができる。

### 【理由】

航海中にくん蒸処理を行う事例もある（例：米国産牧草のコンテナくん蒸）ため、追加を提案。なお、ISPM42（植物検疫措置としての温度処理の利用の要件）では、航海中の温度処理について規定していることから、整合性をとる。